

岩手県感染症週報

平成14年第37週（9月9日～9月15日）

岩手県結核 感染症情報センター

第37週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が盛岡地区から1例、宮古地区から2例ありました。大腸菌の血清型はいずれも O26 でした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

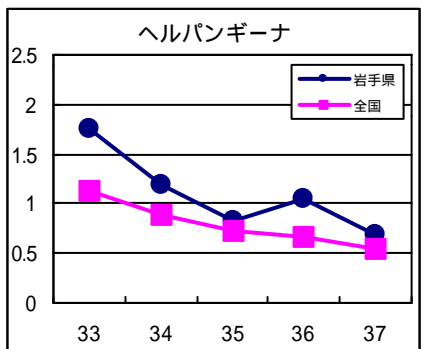
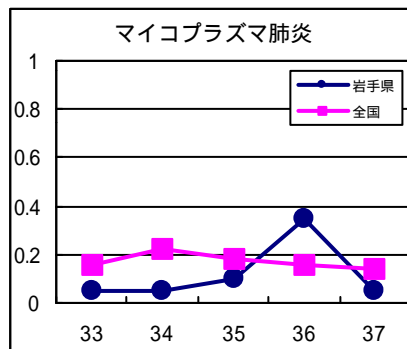
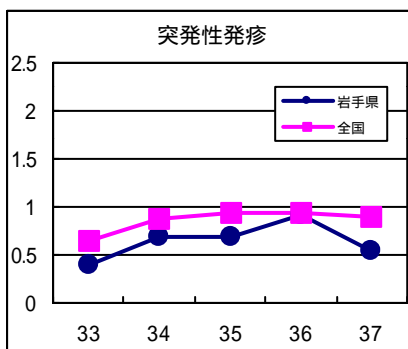
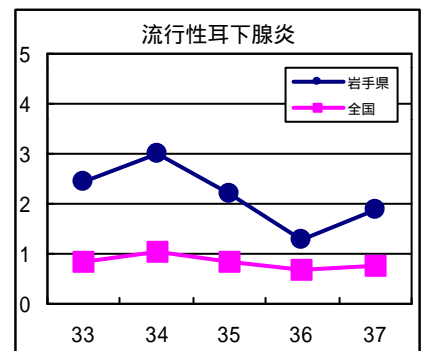
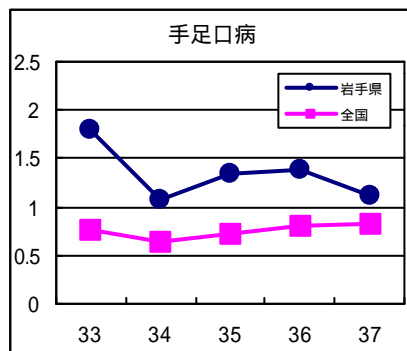
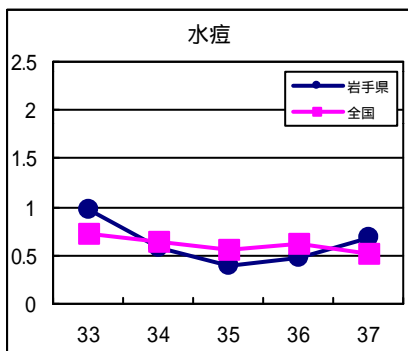
- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・水痘は大船渡地区で定点当たり患者数が 4.0 と増加しました。水痘は例年、6月下旬と年末の年2回の流行のピークがあります。これから寒くなるにつれて患者数は増加するものと予想されますので注意が必要です。
- ・しばらく患者数が横ばいとなっていた手足口病はやや減少しました。患者数の多かった久慈地区では定点当たり患者数が 5.5 と先週の約半分となりました。
- ・先週大きく減少した流行性耳下腺炎はこの週には増加しました。特に花巻地区で定点当たり患者数が 6.0 と大きく増加しました。これまで患者数の多かった二戸地区では減少しています。
- ・先週まで増加傾向にあった突発性発疹はやや減少しました。
- ・先週、水沢地区で 7 例の報告があったマイコプラズマ肺炎は今週は 1 例のみの報告です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		33	34	35	36	37	
インフルエンザ	岩手県	0.02	0.02	0	0	0.02	→
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0.03	0.03	0	→
	全国	0.16	0.16	0.12	0.13	0.12	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.16	0.13	0.29	0.18	0.05	↘
	全国	0.24	0.33	0.38	0.37	0.42	
感染性胃腸炎	岩手県	0.47	0.89	1	1.03	0.95	→
	全国	1.56	2.1	2.07	2.22	2.25	
水痘	岩手県	0.97	0.58	0.39	0.47	0.68	↗
	全国	0.72	0.64	0.56	0.63	0.51	
手足口病	岩手県	1.79	1.08	1.34	1.39	1.11	↘
	全国	0.76	0.65	0.73	0.81	0.82	
伝染性紅斑	岩手県	0	0.03	0.08	0.11	0.08	→
	全国	0.14	0.19	0.25	0.2	0.18	
突発性発疹	岩手県	0.39	0.68	0.68	0.92	0.55	↘
	全国	0.65	0.88	0.94	0.94	0.9	
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0	0.03	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0.03	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	1.76	1.18	0.82	1.05	0.68	↘
	全国	1.13	0.89	0.72	0.66	0.55	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.05	0	0	0.08	0.03	→
	全国	0.04	0.05	0.04	0.03	0.02	
流行性耳下腺炎	岩手県	2.45	3	2.18	1.29	1.89	↗
	全国	0.85	1.03	0.83	0.67	0.76	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.04	0.02	0.04	
流行性角結膜炎	岩手県	1.75	1.08	1	1.17	1	→
	全国	1.04	1.53	1.47	1.29	1.31	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0.01	0.01	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→
	全国	0.01	0	0.02	0.01	0	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.2	0.19	0.12	0.12	0.11	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.05	0.05	0.1	0.35	0.05	↘
	全国	0.16	0.22	0.18	0.16	0.14	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.02	0.01	0.01	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.02	0.02	0	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	（週） 岩手県					全国		
		33	34	35	36	37	累計	37	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	43
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	14	519
	腸チフス	0	0	0	0	0	1	1	49
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	26
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	2	1	2	3	89	102	2598
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	5	332
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	6
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	49
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	8	4	736
	Q熱	0	0	0	0	0	0	1	35
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	107
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	4	1	91
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	68
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0	3	10	643
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	84
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	6	2	120
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	43
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	14
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	1	1
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	1	1	0	4	5	397
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	68
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	31
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	58
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	12
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	3	124	

今注目の感染症

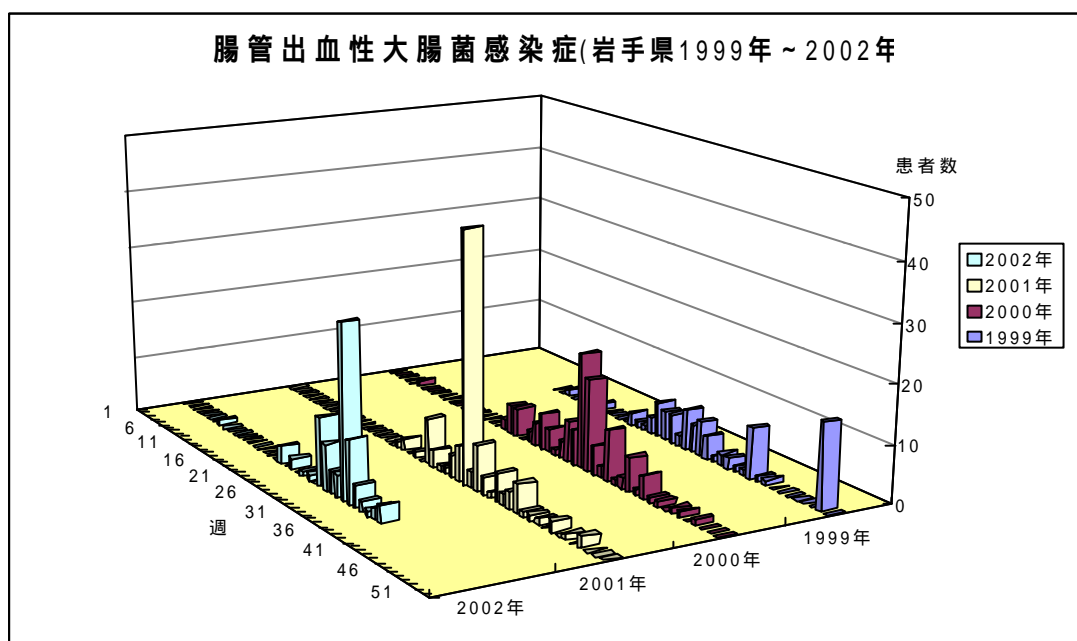
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症が各地で多発しています。37週には盛岡地区から1例、宮古地区から2例の報告がありました。検出した腸管出血性大腸菌の血清型はいずれも026です。

これで、本年の県内の腸管出血性大腸菌感染症の報告は89例（内訳 0157:7例、026:62例、0111:18例、0115:1例、0121:1例）となりました。

腸管出血性大腸菌は比較的少ない菌量で感染するため、集団内での二次感染や家族内感染も少なくありません。特に小児や老人などでは、溶血性尿毒症症候群を併発することがあり、時には生命に関わることもあるため注意が必要です。

腹痛、下痢（血便）の症状がある場合には、早めに医療機関で受診することが大切です。



病原体検出情報

この週に分離検出した病原体はありません。

集団感染情報

サルモネラを原因とする保育園での集団食中毒事件の概要

1 事件の探知

9月12日（木）午後2時30分頃、西根町内の医療機関から盛岡保健所に「大更保育園の園児6人が食中毒様症状を呈し、内4人からサルモネラを検出した。」との通報があり探知しました。

2 調査結果

盛岡保健所の調査の結果、患者の共通食品はこの保育所の給食のみであり、また、複数の患者便からサルモネラが検出されたことから、本事件を当該施設を原因とするサルモネラによる食中毒事件と断定しました。

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 初発月日 | 9月6日（金）午前8時 |
| (2) 患者数 | 園児22名（内通院21名、入院1名：9月13日午後1時現在） |
| (3) 主症状 | 下痢、腹痛、発熱 |
| (4) 病因物質 | サルモネラ |
| (5) 原因食品 | 保育所の給食 |
| (6) 発生保育所 | 大更保育所（在籍者数：職員14名、園児109名） |

サルモネラとは？

サルモネラとは、鶏、豚、牛及びペットなど、ほとんどの動物が持っており、菌が付着した卵や肉を原材料として使用したときに、加熱不足や二次汚染により食中毒を起こします。

原因食品は？

卵焼き等の鶏卵食品やレバー刺し等の食肉食品が多い。また、卵や生肉などから調理器具や手指を介して他の食品が汚染を受けることもあります。

症状は？

潜伏期間は約8時間から48時間で、腹痛、下痢、発熱、嘔吐、頭痛などが主症状です。

予防方法は？

- 1 食肉などを取り扱った器具、容器及び手指は、そのつど必ず消毒する。
- 2 調理の際は食品の中心部まで火が通るように十分に加熱する。
- 3 鶏卵は新鮮なものを購入し、購入後はなるべく短時間に消費する。

医療機関からの情報

医療機関で患者さんを診療している先生方からの情報をお待ちしております。

医療現場の生の声をぜひお聞かせください。

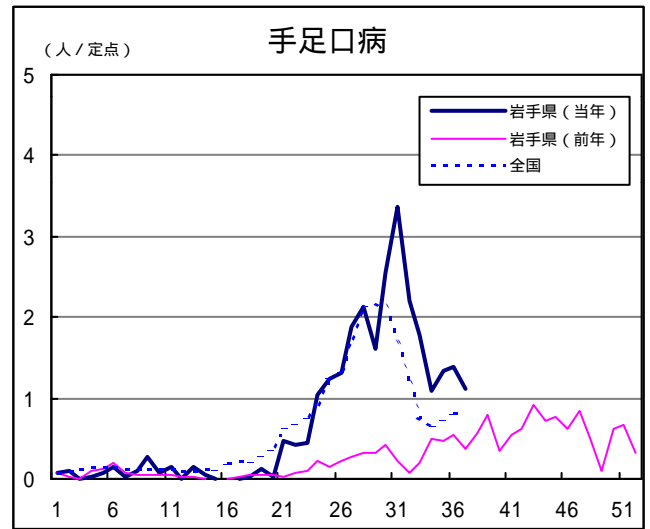
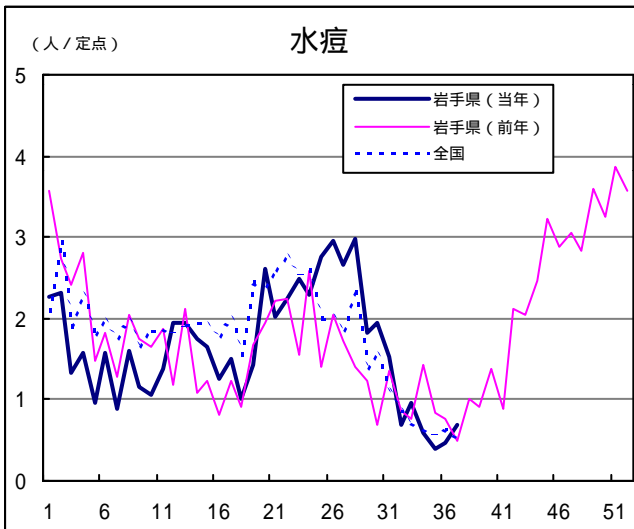
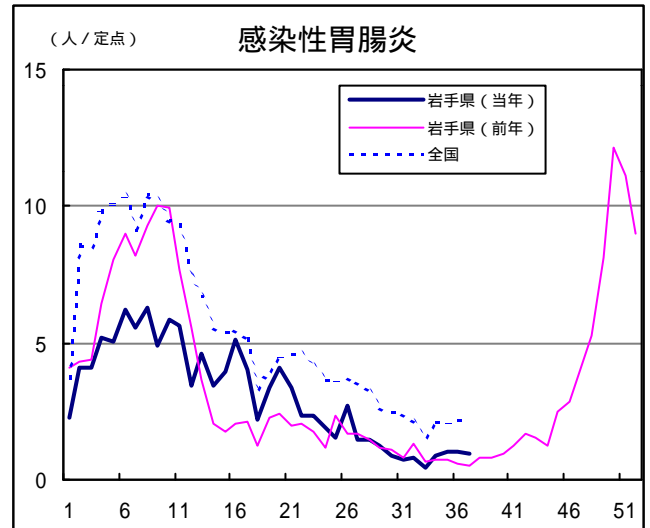
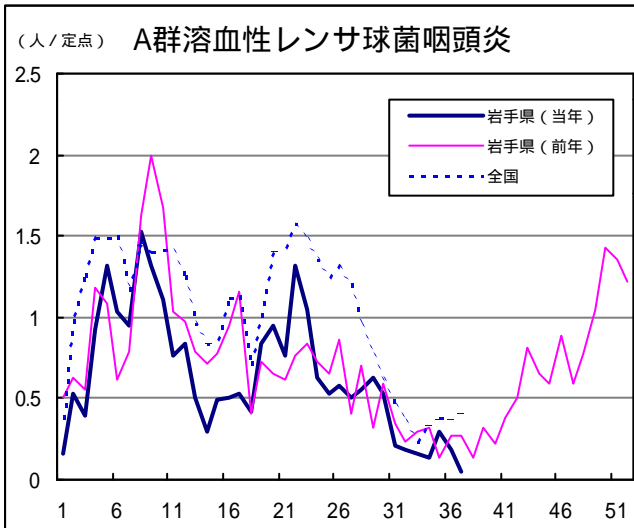
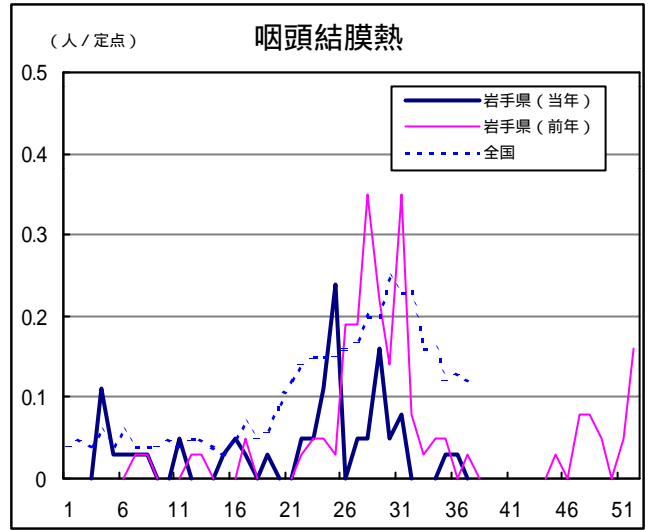
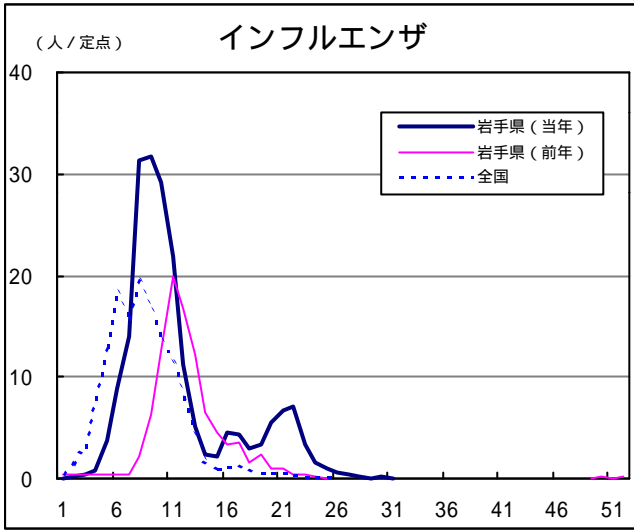
Q & A

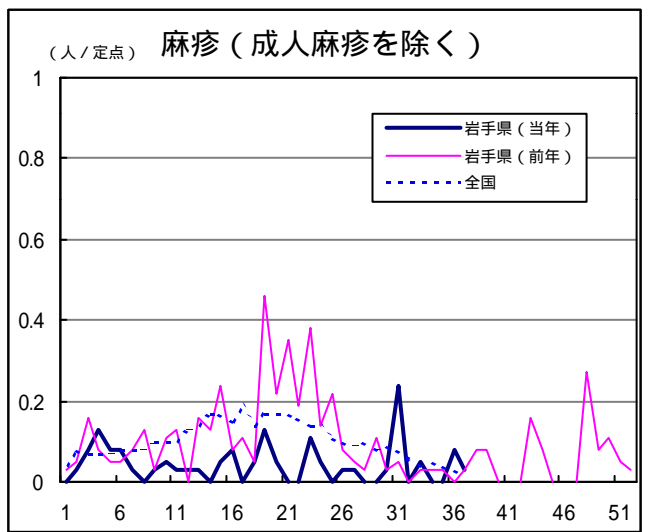
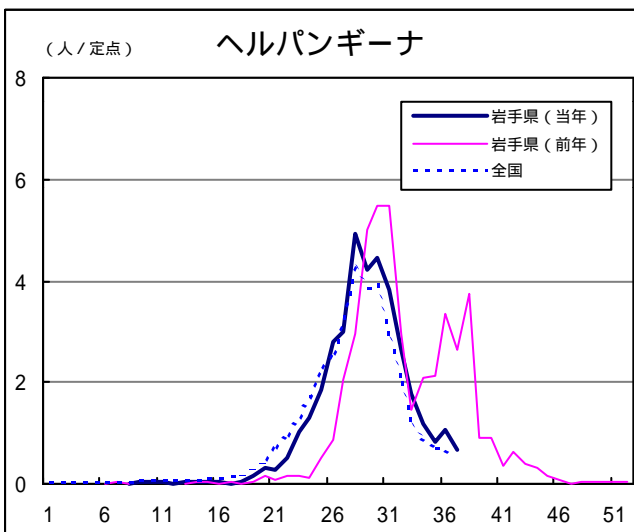
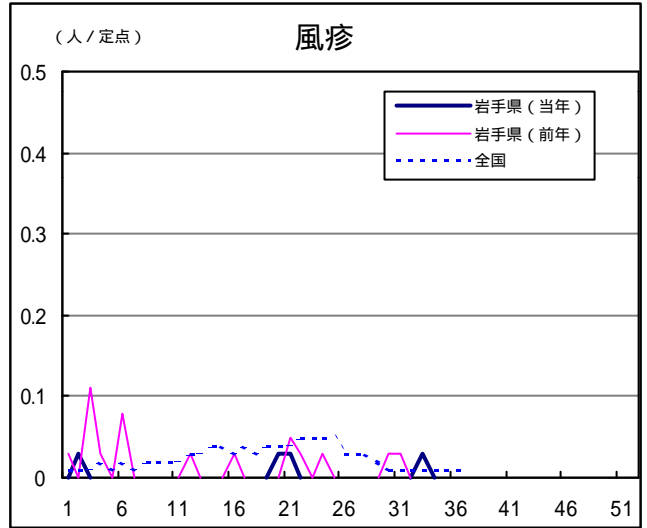
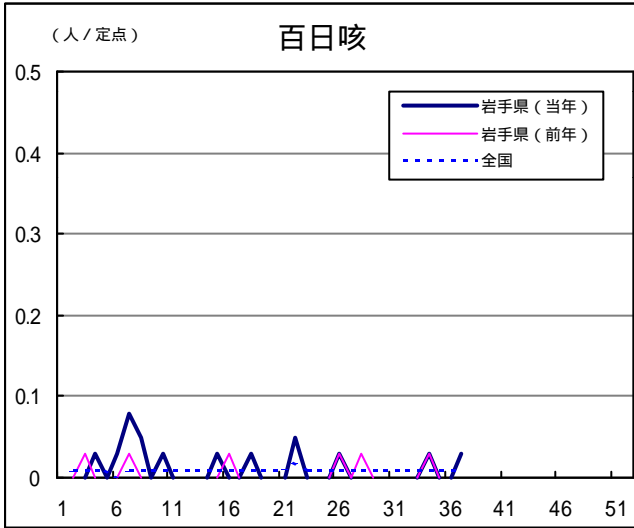
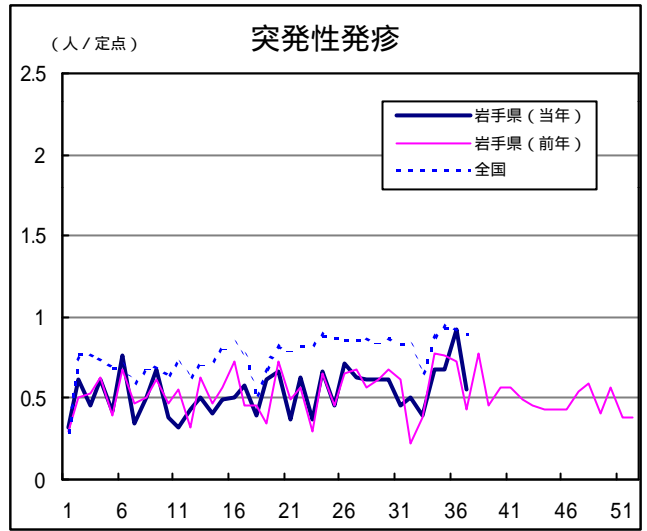
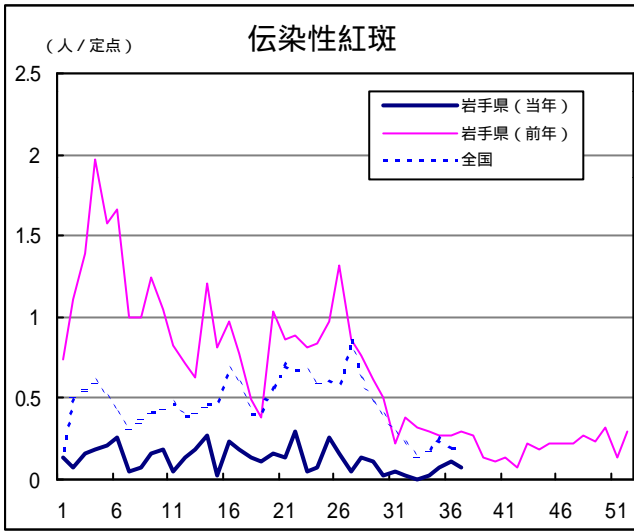
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

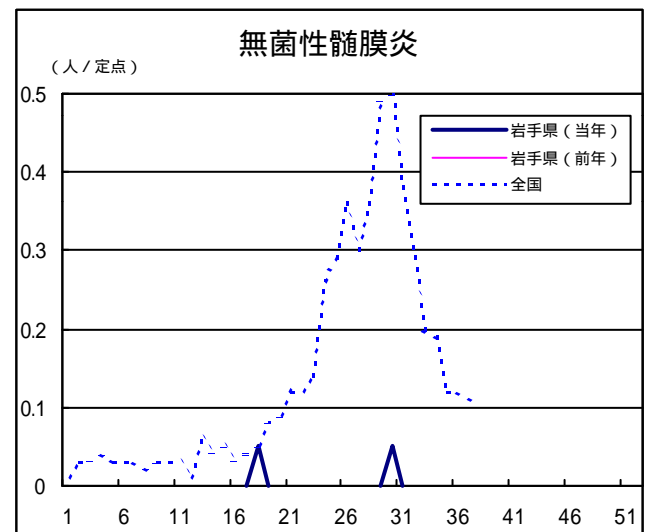
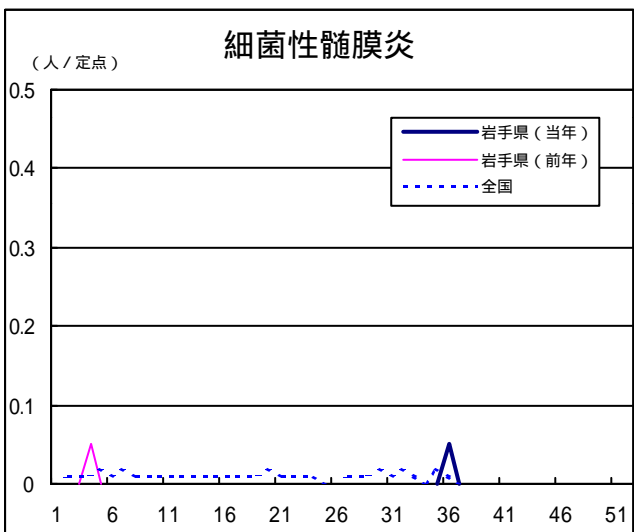
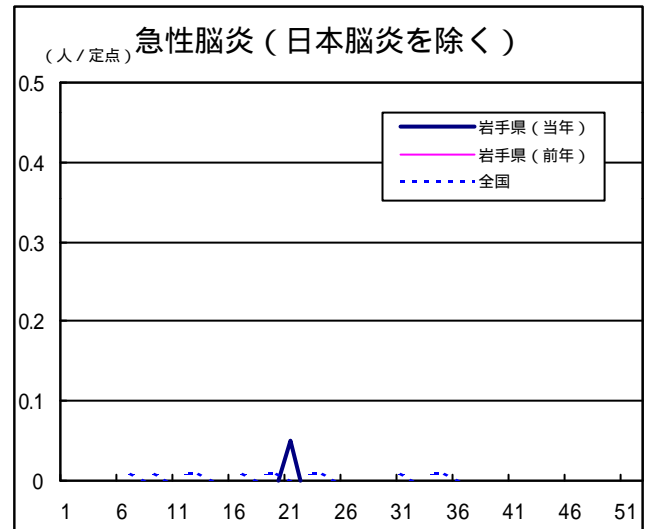
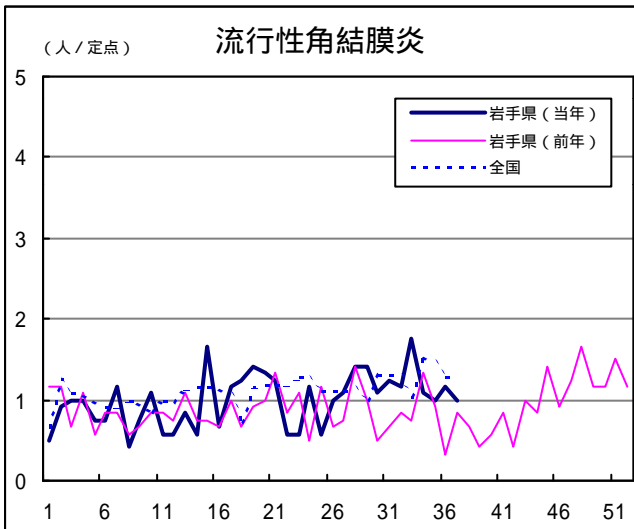
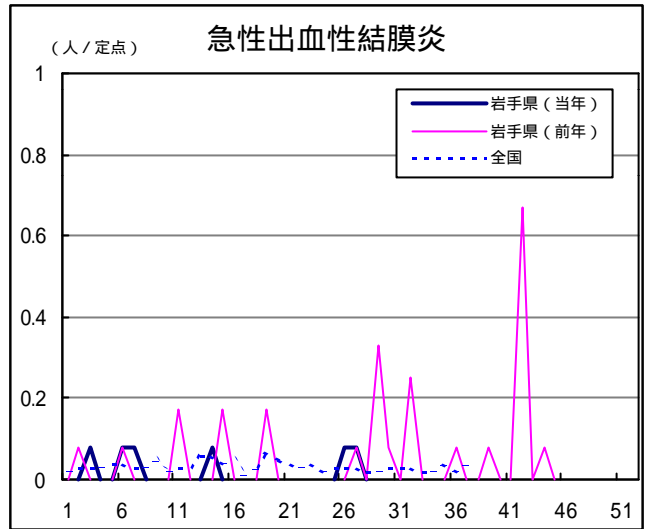
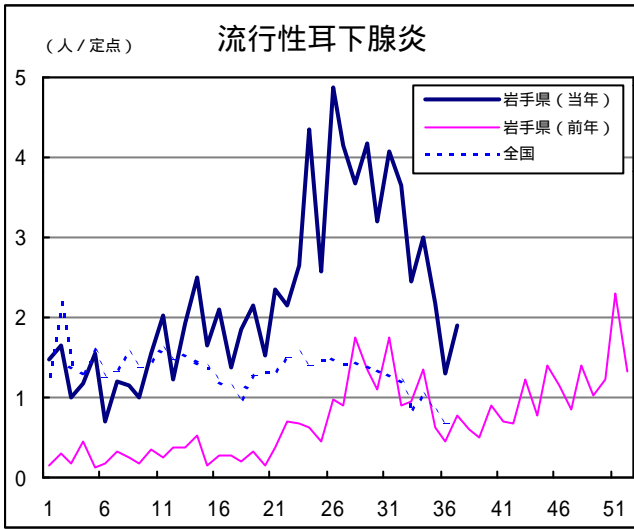
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

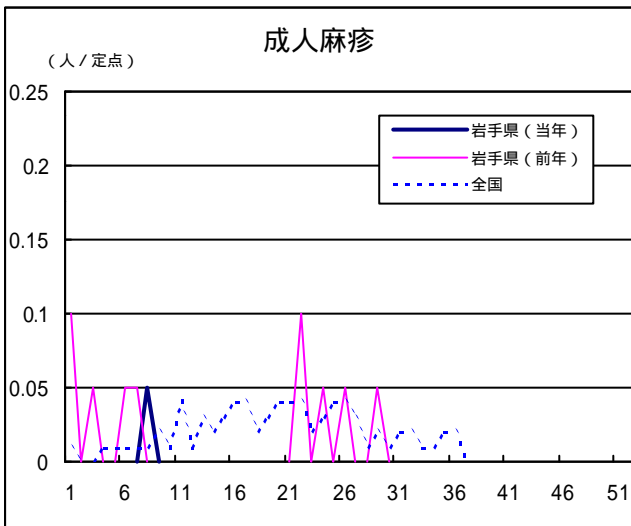
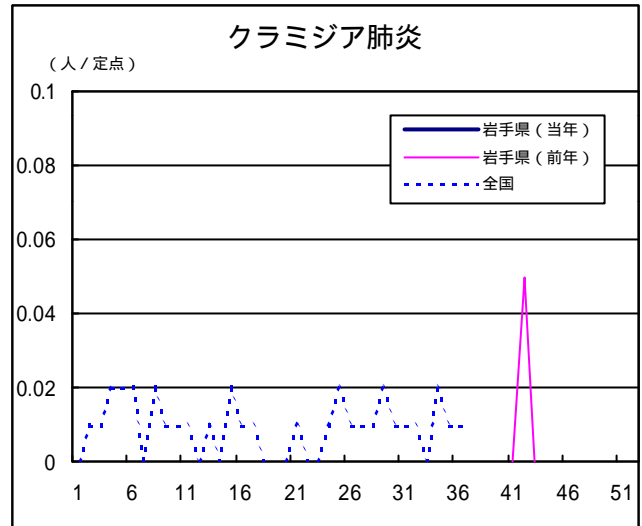
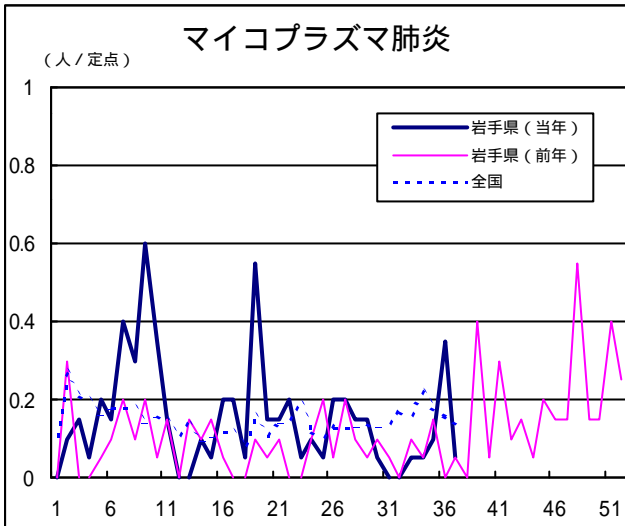
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成14年第37週 平成14年9月20日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>